

地域版

SASEBO 99 Talk
M Cafe

令和7年度 車座集会 意見交換内容

日時	令和7年11月11日(火)15時30分から
場所	南地区コミュニティセンター 第2講座室
テーマ	南地区の学校づくり・まちづくり
出席者	地域参加者13名、市長ほか関係部局長等6名 合計19名
オブザーバー	市議会議員1名

佐世保市 市民生活部
コミュニティ・協働推進課

令和7年度南地区 意見交換内容(要旨)

テーマ:南地区の学校づくり・まちづくり

地域参加者

- 木風小学校、白南風小学校、潮見小学校の統廃合について。跡地を住宅用地として開発してほしい。取付道路の問題がある。山澄中学校から入った住宅地の用地買収が難しいと思うが、裏側に取付道路を取り付ければ安くできると思う。ご検討を。

市長

- 地域の皆様の役に立つような跡地活用をしていきたいので、いろいろなご意見を聞きながら有効な跡地活用に努めていきたい。

地域参加者

- 高専との協力でAI教育も進めたいし、米軍との連携で生の英語も学ばせたい。令和16年度にコミセンと合築した学校ができれば、一緒にできている。福岡にも合築の事例があり、地域と学校と一緒にイベントを行っている。学校と地域とでお互いに足りない部分を補完できるし、移動のハードルも下がる。合築での建て替えは、新しいチャレンジとして実現できれば。我々は、言うからには責任があるので一丸となって一緒にまちづくりをやっていこうという気持ちがある。市の方にもこの機会に新しいチャレンジをしていただきたい。
- 自転車クラブ、AI教育、英語教育などの子ども、学校の支援についても、毎年高専の学生に来てもらっているように、周辺の学校の力も借りながら、地域の子どもたちが力を備えられるように、さらに支援をしていきたい。少なくとも黙って見ているのではなく、良い地域だと思ってもらえるよう努力することで、子どもたちへのお返しをしていきたい。いろいろな企画を行っているので、ぜひ当局のご協力をお願いしたい。



令和7年度南地区 意見交換内容(要旨)

テーマ:南地区の学校づくり・まちづくり

市長

- AI教育については、高専の方からもSTEAM教育のお話をいただいている。佐世保の公立学校でも高専と連携して、小さい頃から工学系・技術系のスキル教育ができないかというようなことも話しているので、ぜひ活用していただきたい。佐世保は米軍基地があるアメリカ文化が根付いたまち、アメリカと親和性の高いまち。グローバルキッズチャレンジ事業や外務省のシードプロジェクトという事業も今行われており、非常に良い事業なので、もっと横展開・拡大ができないかと考えている。
- 福石小・中学校とコミュニティセンターの整備については、合築の方向で進めたい。競輪場は競輪ファンだけでなく、市民の皆様が開かれた、子どもたちも遊べるような施設にしたい。地域のご意見をいただきながら進めたい。合築についてもいろいろな提案をいただいているので、可能な限り反映できるように努めたいと思っている。情報共有しながら進めさせていただければ。

- 佐世保のひとつのモデル地区となるよう、我々も頑張っていきたいので、今後ご協力をいただきたい。

財務部長

- 公共施設の適正配置について。多くの施設が一気に更新の時期を迎えており、人口減少により財政状況が厳しくなる中、全体の総量を縮減する方向で進めている。長寿命化と複合化という選択肢があるが、複合化すると市にとって全体の経費が少なくて済む。今回の学校とコミュニティセンターの合築は、財政面でもメリットがあるので進めていきたいが、セキュリティの問題等、具体的な部分については、今後しっかりと進めていく必要がある。



令和7年度南地区 意見交換内容(要旨)

テーマ:南地区の学校づくり・まちづくり

教育総務部長

- 第1期の学校再編計画で、白南風小学校を含めた7地区の学校再編を進めており、福石小・中学校の再編については、令和16年度の開校を目指している。コミセンと学校の合築については、市民生活部・財務部・教育委員会で合築の方向で検討を深めている段階。市民生活部はコミセンのあり方、財務部は市有財産としてのあり方、教育委員会は学校運営のあり方をしっかり考え、それぞれの足元を固めた上で、市として一体感をもって検討していく流れとなる。地域と学校が近い存在になることには大きな利点があり、いろいろなものにチャレンジしていくことも子どもたちの教育にとっても非常に有意義だが、管理面・安全面はしっかり精査していく必要がある。博多等のその他小学校の事例もしっかり研究していきたい。一度学校を建てると30、40年は残るという視点も含め、様々な視点をもって建設にあたる必要がある。皆様のご意見も頂戴しながら連携をとって進めていきたい。

市民生活部長

- 元々は公民館だったが、コミュニティセンター設置にあたって、地域活性化が目的としてある。この視点をもちながら関係部局と一緒に進めていきたい。



令和7年度南地区 意見交換内容(要旨)

テーマ:南地区の学校づくり・まちづくり

地域参加者

- 今回2巡目の車座集会となるが、深掘りするために同じテーマにした。新たな話としては、競輪場との共存として、自転車部(同好会)の創設を考えている。鹿町工業に全国トップクラスの自転車部があるし、競輪場との話では空いている時間は使用可能ということだった。学校の目の前に競輪場があるので、やってみたいという子どもたちの支援をして、オリンピック選手でも出れば佐世保にも夢が与えられる。そういう環境づくりをやりたいので市の支援もいただければありがたい。

経済部長

- 競輪場との共存はありがたいお話。今はモーニング、ナイター、ミッドナイトとレースの種類が増えて、各時間帯に合わせて選手が調整するため、バンクの利用については自由が利かないことを前提として工夫する必要がある。実績のある選手も佐世保競輪に所属しているので、選手と地域の方と触れ合う機会を考えていただければ。我々も選手会の方に話をするとか調整をはかりたい。



令和7年度南地区 意見交換内容(要旨)

テーマ:南地区の学校づくり・まちづくり

地域参加者

- 今、不登校の児童が増えている。学校・地域の人たちの力だけでは、学校に行けないような感じになってきている。その子たちが外に出られるような環境が整えられればいいのかと思う。そういった子たちが輝けるような場所を作ることを、市の方でも検討してほしい。
- 空家問題。東山で車が通れない道や階段が多い所に空家があり、所有者不明だったり道路が近くにないことから、崩せずに放置されている。子どもたちの通学の際の危険箇所にもなるので、対策を検討してもらえたらと思う。
- 町内会の役員のなり手が少ない。会員も減っているし、市からの援助が少し減ってきた。増やせとは言わないが、この辺で収めてほしいと思っている。

市長

- 市のみならず、国においても重要な問題。個人の資産のためハードルがあるが、担当部署と不動産業者や株式会社ゼンリンの協力をいただきながら、空家の把握を含めて対策を取り始めたところ。地域の皆様方にもご協力いただきたい。

市民生活部長

- (町内会について)部内で工夫をしながら、地域の皆様の支援を続けていければと思っている。



令和7年度南地区 意見交換内容(要旨)

テーマ:南地区の学校づくり・まちづくり

地域参加者

- 商店をやっているが、eコインの広告が古くなっているのので、もう一度発行してもらって、今後もぜひ続けていってほしい。

市長

- eコインは単に地域通貨という役割以外にも、生活にかかわるものにできないのかということで、各部局に指示している。健康のために歩いてたまったポイントを使用したり、ボランティアをしてeコインを貰ったりとか、地域に根付いた仕組みにできないかと模索している。またご意見をいただければと思う。

経済部長

- 激励をいただいたものと思う。しっかりとPRし、また、使っていただけるお店も増えるように努めていきたい。

地域参加者

- 国勢調査員も大変なので、なり手が少ない。市の職員も地域に協力してほしい。そういう指導をしていただくと、もっと町内と市の繋がりが良くなると思う。

市長

- 今年は国勢調査員としても、地域の皆様にご協力いただいている。皆様のおかげで、こうして地域も回っていると改めて感じた。



令和7年度南地区 意見交換内容(要旨)

テーマ:南地区の学校づくり・まちづくり

地域参加者

- 防犯カメラをつけないかと話があったが、自己負担がかなりあるので諦めた。以前強盗が入ったが、カメラに映っていて捕まった。効果はあると思うので、ぜひ市内に十分に設置するよう、財源について検討していただきたい。
- 世帯数が減って行事も昔のようにはできず、ギリギリでやっている。学校づくり・まちづくりのためには子どもが居ないといけない。そのためには婚活も必要。婚活事業について11月発行の市議会だよりに載っていた。自衛隊もやっている。昔は佐世保市でもしていたが、今はしていないのか。自衛隊員にも佐世保で結婚して居を構えてもらい、子どもが多くなるよう期待している。根本的な問題だと思う。婚活事業が発展して市の人口が増えればいいと思う。

市長

- (防犯カメラについて)地域においても治安の問題が出てきているので、特に懸念があるところには率先的に対応できるような仕組みができないものか検討をしていきたい。
- 自衛隊の婚活については市も支援している。県もマッチングアプリを含めた様々な婚活事業を行っている。県・市で連携していきたいというふうに思っている。

市民生活部長

- (防犯カメラについて)今年始まった制度なので、今後の運用やご意見をもとに、地域の皆様の支援を続けていければと思う。

財務部長

- (婚活事業について)県の方で統括して行っている。



令和7年度南地区 意見交換内容(要旨)

テーマ:南地区の学校づくり・まちづくり

地域参加者

- 近所の人から聞いたが、敬老パスはなくなるのか。100円、200円払うようになると乗り降りする度にお金を払わないといけない。今の敬老パスは、制限なく乗り降りできて大変助かっている。残してほしい。

市長

- 敬老パスは廃止ではなく、見直しを今諮問している。使用者が少ない実態や、松浦鉄道や代替交通にも使えないかという話もあるので、できるだけ公平性が保てるような制度として生まれ変わるように見直しをかけているところ。バス路線の廃止や減便がある中で、できるだけ空白地がないように、市民の利便性をできるだけ損ねないように市としても頑張っていきたい。



令和7年度南地区 意見交換内容(要旨)

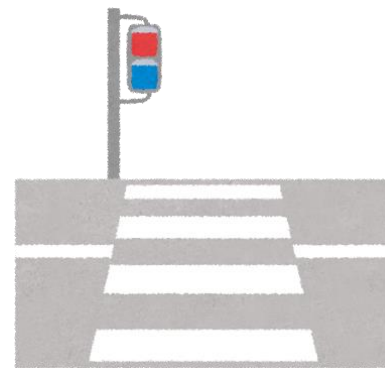
テーマ:南地区の学校づくり・まちづくり

地域参加者

- まちづくりということだが、私の町内会では100歳体操やカラオケ教室、カローリング大会とかをやっている。他に地域の道路の白線引き、バグギー大会とかもしている。
- 交通指導員をしている。朝、子どもたちが自ら挨拶をしてくれるようになったり、通った人も「お疲れ様です」と声をかけてくれるようになった。交通指導員はいいな、というような感じで頑張っている。
- 町内会では毎月常任委員会をやっていて、明るく楽しいことができないかと行事の企画などを考えている。町内が少しでも明るい楽しいまちになるように、努力をしていきたいと思っている。

市長

- 交通指導員や見守り、今年は国勢調査員としても地域の皆様にご協力いただいている。町内の皆様方が活動できるような受け皿をしっかりと作り出すことが重要。公約の中に地域予算制度などを掲げており、市民生活部を中心に検討して進めている。これからは地域の活動が大きなカギを握っていくと思うので、共助の部分をしっかり構築できるように頑張っていきたい。



令和7年度南地区 意見交換内容(要旨)

テーマ:南地区の学校づくり・まちづくり

地域参加者

- 今年度から校長に就任したが、母校に戻ってきて嬉しく思っている。同級生や同級生の子や孫の世代とともに教育活動が進められることに感謝している。生きていくうえで必要なことの基本のすべては、ふるさと「福石」で学んだと思えるように、子どものアイデンティティーを育み、望ましい人格形成を目指し、学校経営にあたっている。「思いやりのある子、やる気のある子、元気のある子」の育成を目指して日々教育に取り組んでいる。教職員、地域、保護者と共に子どもたちの輝いている姿を作り上げたいという思いから「共創」という学校だよりを発行し、子どもの輝いている姿を伝えている。福石中学校とも連携しながら、将来的には地域の皆様と一緒に学校運営協議会をつくることができたら、という思いをもっている。これから地域とともにある学校として、地域とともに手を携えて学校づくりをしていけたらと思う。
- 今年からPTA会長をしている。中学生がよく挨拶をしていると言われる。挨拶はコミュニケーションの第一歩であり、それを今の中学生が誰に教わるわけでもなくできている。そう言われることも、自分が子どもに会った時に子どもが先に挨拶をしてくるとも嬉しい。こういうことを続けられれば、南地区の地域の方に見守っていただけていることを実感してくれていると思う。先日問題もあったが、地域の方にも見守ってもらっていたと思う。今後も地域のみなさんと一緒にまちを盛り上げていければ。



令和7年度南地区 意見交換内容(要旨)

テーマ:南地区の学校づくり・まちづくり

地域参加者

- 総合的な学習として「新佐世保魅力発信プロジェクト」というプロジェクト学習を始めた。いろんな課題を見つけて自分たちにできることをと、佐世保の魅力を発信するための商品開発を始めて3年目になる。市の若者活躍・未来づくり課にもお世話になっていて、佐世保クリテリウムでもブースを設置して、へんてこな英語を使いながらも外国人と関わる活動もでき、子どもたちも喜んでおり、すごく手ごたえを感じていた。生徒たちがアドバイザーの古川さんに「自分たちがやりたい仕事を見つけられない」と質問したことに対して「じゃあ会社作っちゃえば？自分たちで今からもうできることをチャレンジしてみたら。」とアドバイスされたことから、今の活動に至っている。これから先は、企業や事業者とも連携が入ってくるのではと思っている。南地区自治協議会にも学校を支えてもらっている。まつりでの子どもたちの活動の後押しをしてもらったり、自治協主催の学習支援で高専の生徒とも関わったりしている。賛助会員である企業や事業所とも協力して、一緒に、学校・まちづくりに繋げていければ。

市長

- 来年も10月9日にクリテリウムの開催が決定した。今年は選手がコーナーを回るときに、子どもたちに大きな声で応援していただいた。小倉ではこのようなことはなく、選手も頑張って走ったのでは。子どもたちにとっても、思い出に残るようなイベントになったのではないかと思う。来年はもっと多くの子どもたちに見ていただいて、将来レーサーを目指すというようなひとつのきっかけになればと思うので、多くの子どもをお誘いできるように頑張っていきたい。

経済部長

- 子どもたちがやりたい仕事を見つけられない、佐世保にどんな会社があるかわからないという点については我々も問題意識を持っている。部として地元で働きたいという子どもが1人でも増えるようにという思いを常に持っているので、どういった仕組みが考えられるのかを教育委員会とも話をしながら、地元企業を紹介する機会を作るなどの工夫を今後していきたい。



令和7年度南地区 意見交換内容(要旨)

テーマ:南地区の学校づくり・まちづくり

地域参加者

- 町内会が135世帯に減った。小学生はもろに減った。自分の班内では2人だけ。学校とはうまく連携していると思う。町内では夏祭り、敬老祝賀会、餅つき大会の3つの行事をやっている。餅つき大会は、子どもたちとお母さん方にもいろんな体験をしてもらうのが大事だという思いで行っている。役員にはよく協力してもらっているが、自分も敬老パスのお世話になっている後期高齢者で、役員が高齢化して大変になってきている。どこの町内会も同様だと思う。
- 空家、独居老人が増えている。
- 物価高に対しての質問も諸国議員が質問されていた。交付金が市に入ってくれば、現金支給ではなく商品券等が支給されるのか。

市民生活部長

- 部内で工夫をしながら、地域の皆様の支援を続けていければと思っている。

市長

- 物価高騰対策として、現役世代の賃金は上がっていて、子育て世帯には支援をしているが、高齢者への対策をどうするか。水道料金の値上げの影響や国の動向を見ながらやっていきたいと考えている。

経済部長

- (物価高騰対策について)紙の商品券のところもあれば、eコインのところもあると思う。いろんな所の商店街が取り組む予定になっており、地元の福栄会でも準備されると思う。間もなく皆様へ、アナウンスがあると思うので、ぜひ地域の買い物にご活用いただければと思う。



令和7年度南地区 意見交換内容(要旨)

テーマ:南地区の学校づくり・まちづくり

地域参加者

- 民生委員の立場から言いたい。通学路に空家が多い。崩れそうな空家が放置されていて、市に何度言っても、お金もかかるし持ち主側の事情もあって出来ない。トタンが落ちてきて危ない。草がたくさん生えたりしていたら、その地区の町内会長さんに言って対応していただいたりしている。
- 地域見守りで通学中の子どもを毎朝見送っているが、子どもたちは待ってくれている校長先生に向かって喜んで走って行く。民児協としても一度勉強会を開いたが、言葉1つで怒ったりすることもあるので、ひまわり学級の子どもたちへの声掛けは難しい。
- 子どもたちは機嫌が良くない時もあるが、地域の方に見守っていただいたり励ましていただきながら登校している。
- 自分の子どもの双子が白南風小学校の2年生。5年生の時に同校の児童は潮見校と木風校に分かれて通うことになっている。いつか学校が統廃合になるとは言われてきたが、まさか自分の子の時にそうなるとは思わなかった。大人を中心にずっと学校について協議しているが、当の子どもたちは、今まで通っていた学校に通えなくなることで、通学距離が長くなること、仲の良い友達と分かれて違う学校に通うこと、離れたまま一緒に学校を卒業できないことについてどう思うのだろうかと考える。先生たちからはまだ話を聞いていないので、各家庭でぼんやり伝えているのかなと思うが、子どもたちがいちばん影響を受けることであり、精神的負担が大きいと思うので、どう伝えたらいいのか。地域にとっても子どもたちにとっても、どうするのがいちばん良い方法なのかを、深く考えていく必要がある。



令和7年度南地区 意見交換内容(要旨)

テーマ:南地区の学校づくり・まちづくり

地域参加者

- 地域の方と共に学校教育を進めていくことは、これからの学校では不可欠。どういう子どもを目指していきたいかという学校の経営方針を、まずは地域の方にしっかりとご説明し、ご理解をいただく機会を作していきたい。将来的には地域の方と協力しながら、学校運営協議会というものを立ち上げていけたらと思う。

市長

- 子どもたち目線で学校再編を行うということは外さないようにしていきたい。

地域参加者

- 中学生のプロジェクト学習の話もあったが、中学生の子たちが自分たちの世代になった時のことを考えると、場面場面で会議に中学生にも参加し

地域参加者

てもらったらいいのではないか。我々では気づかないこともたくさんあるので、子どもの目線でこの地区をどうしてもらいたいか話してほしい。そういうことを中学校と連携してやっていきたい。

- 南地区自治協議会には、いろんな業種の賛助会員がいて、いろんなイベントや行事でも企業などとも関わりがあると思うので、中学生の体験もしやすい。個人的な考えでいくと、これからの学校づくり・地域づくりは一丸となるべき。今後、子どもが減る推計が出ている。ジャパネットたかたの会長に今度講演してもらおうが、「変える力を持たないといけない」という考えが似ていると思った。時代の変化が著しい中で、今から一人一人に何が必要か、佐世保をどういうふうにしたいかを考えると、子どもたちも一緒に地域・まちづくりに参加することで、佐世保に愛着を持ち、戻ってきて盛り上げてくれる子を増やすことも必要。それに関わる事業を進めていきたい。



令和7年度南地区 意見交換内容(要旨)

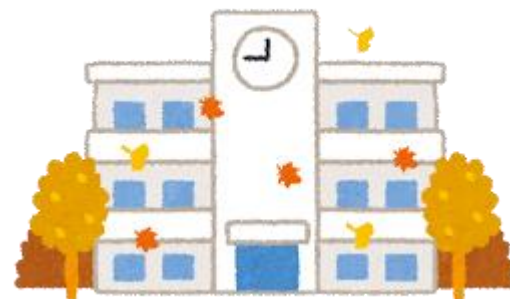
テーマ:南地区の学校づくり・まちづくり

地域参加者

- 国が謳っているので、いずれコミュニティスクールの形になっていくと思う。成功例もたくさんあるが、地域の高齢化によりコーディネーターの人選に苦慮するという失敗例などもあるので、これから設置するにあたっては、持続可能な体制づくりを自治協議会を中心に、地域の方々と摺合せながら行っていくのが第一。またコミュニティスクールにした後は、地域と学校の思いや願いを共有しながら目標・目的をもって運営していかないと、関わろうという人材が増えないので、先まで見据えた土台作りをやっていく必要がある。地域学校協働本部の考えに”地域と学校の連携体制をもとに”というフレーズがあるが、すでに南地区自治協議会と福石中学校は、いろいろな連携をしているので、例えば賛助会員を巻き込んで、いろんな人たちのアイデアを借りながら、その幅を広げていくというのは可能かと考える。その準備期間に時間を割く必要がある。

学校教育部長

- 土台となる制度を確かなものにしていくという点は、教育委員会も福石小・中学校と共通の課題として認識している。準備にあたる両校に対しては、指導主事を派遣して成功例や効果的な進め方の丁寧な説明をさせていただきたい。文部科学省のCSマイスター制度もあるので、横のつながりを大事にさせていただきながら、福石地区での取り組みを検討していただく機会も作れると思う。教育委員会として両校をしっかり支えていきたい。



令和7年度南地区 意見交換内容(要旨)

